令和6年度
奈良県がん化学療法チーム研修会
奈良県がん・生殖医療ネットワーク研修会

妊孕性温存治療を含めAYAがん患者のために奈良県の病院は何をすべきか？

―――奈良県AYAネットワーク設立に向けて―――

**AYA世代のがん患者さんを支えるには、何を勉強したらいいんだろう？
妊孕性温存療法は知っているけど、実際どうしたらいいかわからない。
ひとりで悩まず、奈良県全体でネットワークを構築し共に支えられたら。
他県のケースも参考に、この機会にぜひ一緒に考えてみませんか？**

【研修のねらい】
AYAがんにおけるがん治療と生殖医療のネットワークを構築するために、 参加者ががん妊孕性温存療法における奈良県の現状と今後の課題について理解し、説明できる

【募集対象】
県内のがん化学療法および生殖医療に関わる医師・薬剤師・看護師・医療ソーシャルワーカー等

日　時：令和7年3月16日(日) 9時～12時
場　所：奈良県立医科大学　厳橿会館３F大ホール
ハイブリッド型（対面＋ZOOM【Web配信】）
講　演：①妊孕性温存からAYA世代のがんを考える連携づくりへ
～滋賀県で取り組んだこと～
淀川キリスト教病院　乳腺外科
部長　河合　由紀先生
②岐阜がん・生殖医療ネットワークの樹立と成熟
---岐阜県（地方自治体）による運営に至るまで---
岐阜大学医学部附属病院　成育医療センター
教授　古井　辰郎先生
③AYAがんの医療と支援のネットワーク―地域活動に期待すること―
国立国際医療研究センター病院　がん総合診療センター/AYAがんの医療と支援のあり方研究会
センター長/理事長　清水　千佳子先生

申込み：Web申し込み
締切り：令和7年3月13日(木)

こちらのQRコードから
お申込みください

お問い合わせ
奈良県立医科大学附属病院　病院管理課事業推進係
TEL：0744-22-3051　内線：3279

主催　奈良県立医科大学附属病院(都道府県がん診療連携拠点病院)
奈良県がん・生殖医療ネットワーク

後援：　奈良県産婦人科医会